

障害者選考試験2月3日

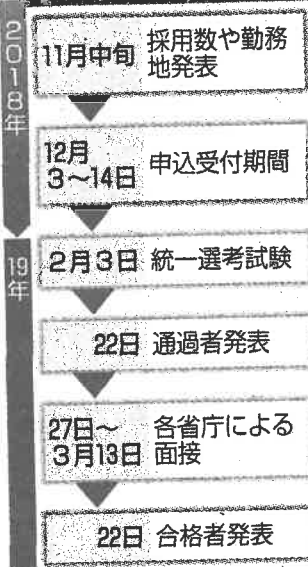
国家公務員で初、人事院

中央省庁の障害者雇用水増し問題で、人事院は24日、障害者を国家公務員の常勤職員として採用する統一選考試験を2019年2月3日に実施すると発表した。障害者限定の公務員採用試験は自治体では例があるが、国は初めて。これまでの試験は健常者との区別が

なく、受けるのをためらう人もいたことから、受験者を掘り起こして法定雇用率達成につなげる狙いがある。障害者を示す手帳や診断書を所持し、1959年4月2日以降に生まれた人が対象。申し込みは12月3、14日まで郵送で受け付ける。

試験会場は札幌や東京、大阪など9都市を予定している。来年2月22日に通過者を発表。各省庁が同27日、3月13日に面接し、3月22日に最終的な合格者を発表する。

障害者選考試験の日程



内容は今後示す。試験は、公務員として必要な教養や基礎知識を選択肢方式で尋ねる問題と、作文の二つ。点字による出題や、腕に障害がある人にパソコンでの解答を認めるといった配慮をしよう。

問題はレベルは高校卒業程度のため、人事院の担当者は「特定の分野に優れた知的障害者は、各省庁が個別に採用してほしい」としている。

政府は19年末までに4千人超の障害者を雇用する計画。人事院は2回目以降の統一試験について「各省庁の採用状況などを踏まえて検討したい」としている。

運転免許取得へ支援講座

田布施総合支援学校で

県労働者福祉協議会は22日、田布施町川西西山の田布施総合支援学校（石田真也校長、158人）で高等部生徒を対象にした運転免許取得特別支援講座を柳井自動車学校の協力を得て開いた。

同講座は、総合支援学校の生徒が安心して自動車学校に入校できるように、自動車学校指導員が出向いて助言や学科教習などを行う。同協議会が2006年から開講しており、今回で協力する自動車学校は5校目、開講する総合支援学校は7校目となる。

同日は開講式があり、受講生ら関係者約10人が出席。柳井自動車学校の石田昭

文校長(62)が「ぜひ運転免許を取って社会で活躍してほしい」と激励。普通科の男子生徒(17)は「講座を開いていただきありがとうございます。しっかり学習したい」と話した。



関係者らが出席した運転免許取得特別支援講座開講式=22日、田布施町